YMIRLINK

2026年12月期第3四半期決算説明資料

2026年11月13日

ユミルリンク株式会社

証券コード：4372

当社システムへの不正アクセスによる情報漏洩に関するお詫び

2026年10月19日 当社システムへの不正なアクセスに関するご報告（第一報）、
2026年10月26日 当社システムへの不正なアクセスに関するご報告（第二報）、
2026年11月11日 当社システムへの不正なアクセスに関するご報告（第三報）にて
お知らせいたしましたとおり、当社メール配信サービス「Cuenote FC」の一部サーバ、
当社顧客管理システム「Cuenote Base」におきまして、海外からの不正アクセスにより
情報漏洩が発生いたしました。

当社サービスをご利用いただくご契約者様、ご契約者様に情報登録された個人の皆様、
株主・投資家の皆様、関係機関の皆様に多大なご迷惑をおかけいたしましたこと、心より
深くお詫び申し上げます。

当社では今回の事案を重く受け止め再発防止策を講じるとともに、第三者機関の協力を
得つつ情報セキュリティ体制のさらなる強化に取り組んでまいる所存です。

個人の皆様におかれましては、ご契約者様や他企業、団体を装ったメールやショートメッセ
ージ、電話等にご注意いただき、不審なURLへのアクセスや添付ファイル開封などを行わ
ないよう十分にご注意下さい。

あらためましてこの度の情報漏洩におきまして、多大なご迷惑をおかけいたしましたこと
心より深くお詫び申し上げます。

1 2026年12月期 第3四半期決算 Page 4

2 2026年12月期 業績予想 Page 19

3 株主還元方針 Page 22

4 成長計画 Page 24

5 appendix Page 31

1.

2026年12月期 第3四半期決算

業績サマリー

売上高	**2,580百万円** 全サービス増収、3Qの最高額を計上	前年同期比 **15.4%増**
営業利益	**528百万円** 増収にともない3Qの最高額を計上	前年同期比 **14.3%増**
Mail	**1,874百万円** 期末MRR：207百万円／前期の価格改定効果からMRR(*1)伸長	前年同期比 **5.1%増**
SMS･Auth	**479百万円** 期末MRR：64百万円／契約数と既存顧客の配信数増加によりMRR伸長	前年同期比 **61.1%増**
Survey･他	**50百万円** 期末MRR：5百万円	前年同期比 **0.5%増**

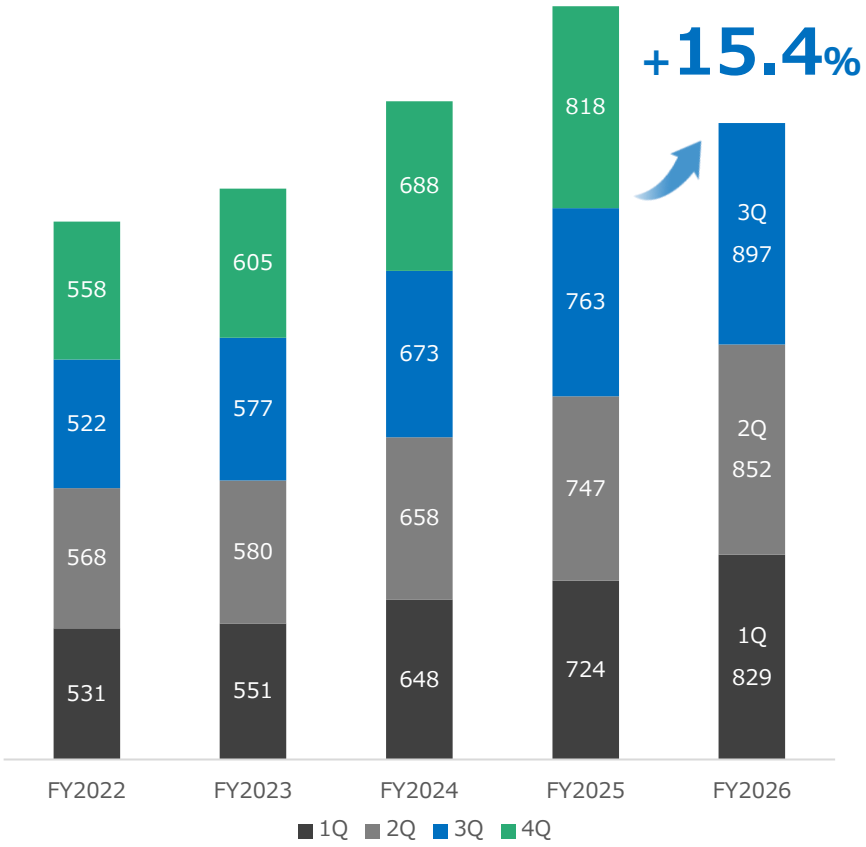
(*1) MRR(Monthly Recurring Revenue)：月次経常収益
SaaSのサービス利用売上や買取型ソフトウエアの保守売上など、一定期間の役務や利用を定めた契約に基づく収益です

業績推移（四半期累計）

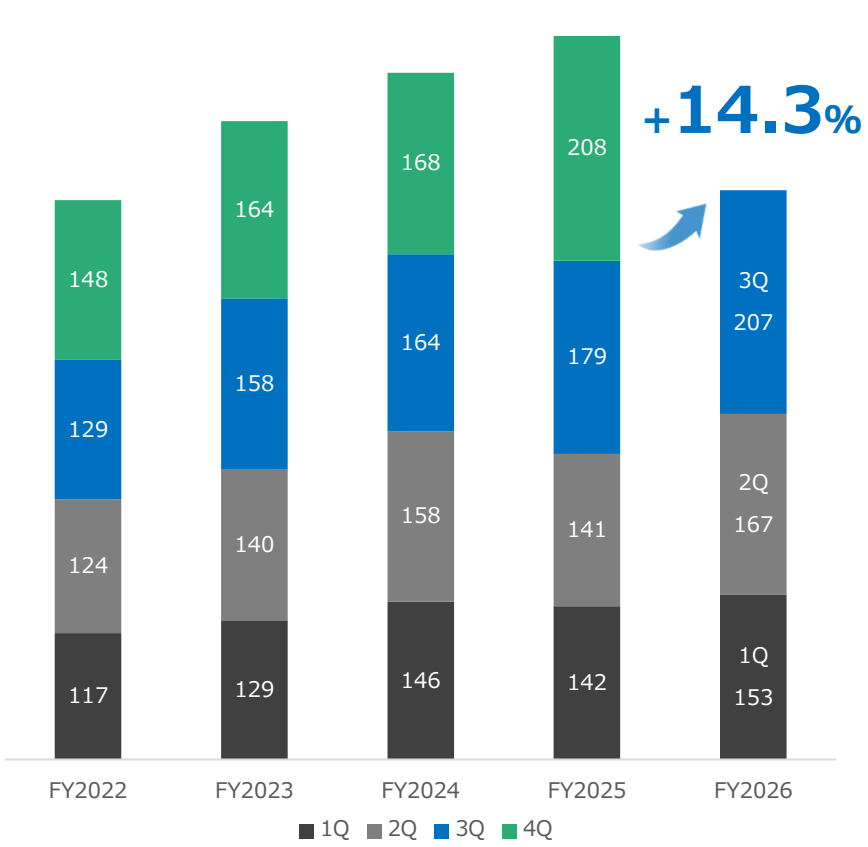
YMIRLINK

売上、営業利益ともに単四半期、累計期間の最高額を計上

売上高 (百万円)

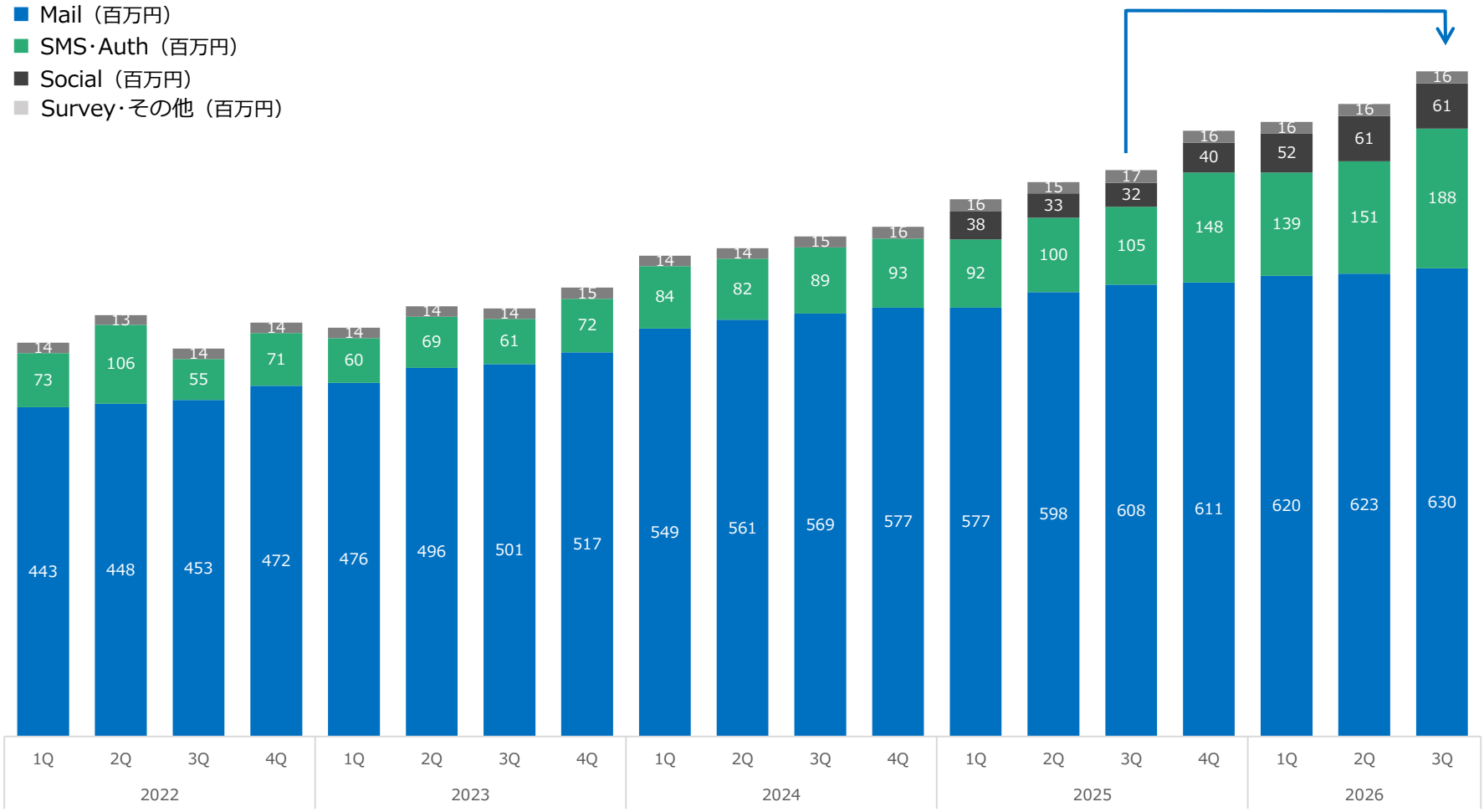


営業利益 (百万円)



四半期売上高推移(サービス別)

主要サービス増収（Mail+3.7%、SMS+79.6%、Social+91.3%、他▲5.4%）



サービスハイライト

Cuenote FC 新バージョンリリース



※画面はイメージです。

メール配信システム「Cuenote FC」の
UI・UXを刷新！

ダッシュボード画面も追加した新バージョンを
8月14日から提供開始。

Cuenote MA β版リリース



※画面はイメージです。

BtoB向けマーケティングオートメーション
「Cuenote MA」のβ版をリリース。

今後、ユーザーのフィードバックを収集し、
サービス改善を実施した後、リリース予定。

YMIRLINK

サービスハイライト

製品リリース・バージョンアップ

» **「Cuenote Push」に配信APIなどの機能を追加**
APIによる配信の自動化と反応率を最大化する通知の表示時間調整に対応

» **「Cuenote 安否確認サービス」セキュリティ機能強化**
管理画面上の操作記録と前回サインイン表示機能のアップデート



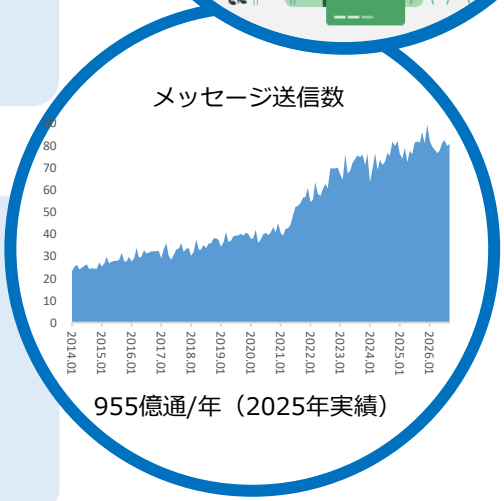


主な導入先

» **Mailサービス**
証券業、省庁、行政法人、自治体(水道局)、生活メディアサービス、人材紹介、
不動産仲介、印刷、アミューズメント、自転車メーカー、食品メーカー

» **SMSサービス**
本人認証　：電力会社、ふるさと納税、薬局チェーン、グルメアプリ、コンビニ
通知・連絡：医療コンサルティング、音楽スタジオ、学校、物流ソリューション
督促・催促：不動産賃貸斡旋

» **Pushサービス**
映像・出版業、食品メーカー、システム開発



事例公開

キヤノンマーケティングジャパン様：Mail

導入決定のポイント

✓ 月間800-900万通を延滞なく配信
✓ 複数担当でも滞りなく操作
✓ Gmailガイドラインへの対応

アットゴー様：SMS

導入決定のポイント

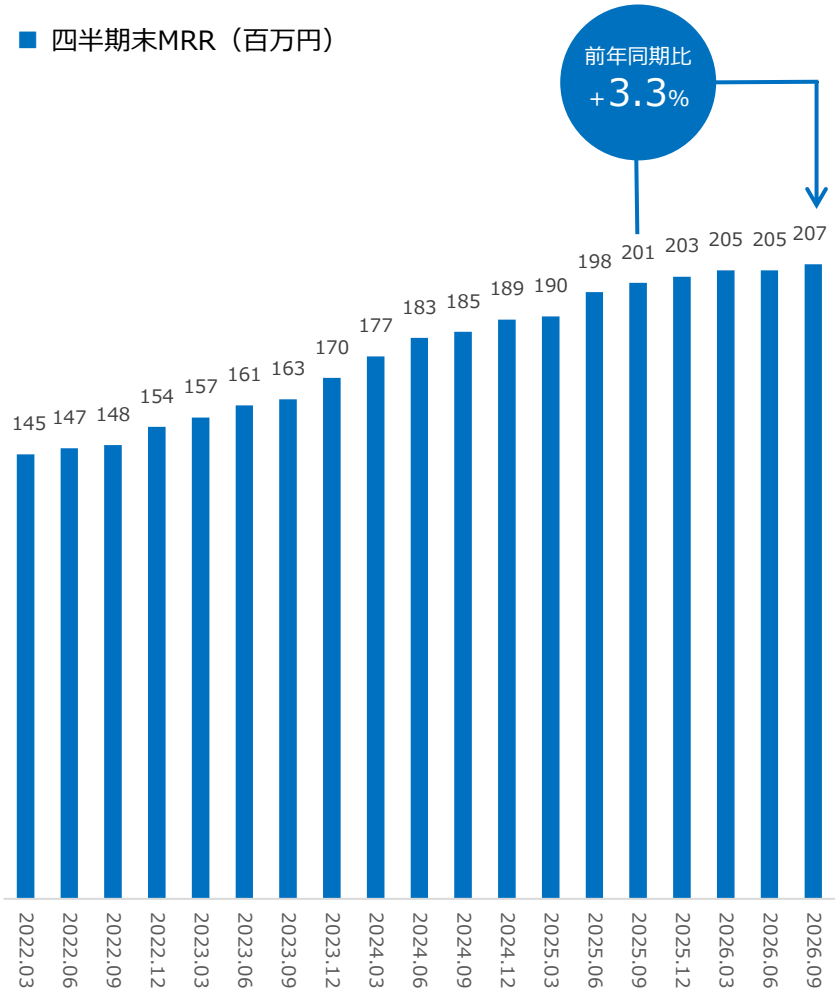
✓ kintone上の顧客情報との連携
✓ kintone上で抽出、作業時間短縮
✓ 顧客情報に応じた絞込みと一斉送信

YMIRLINK

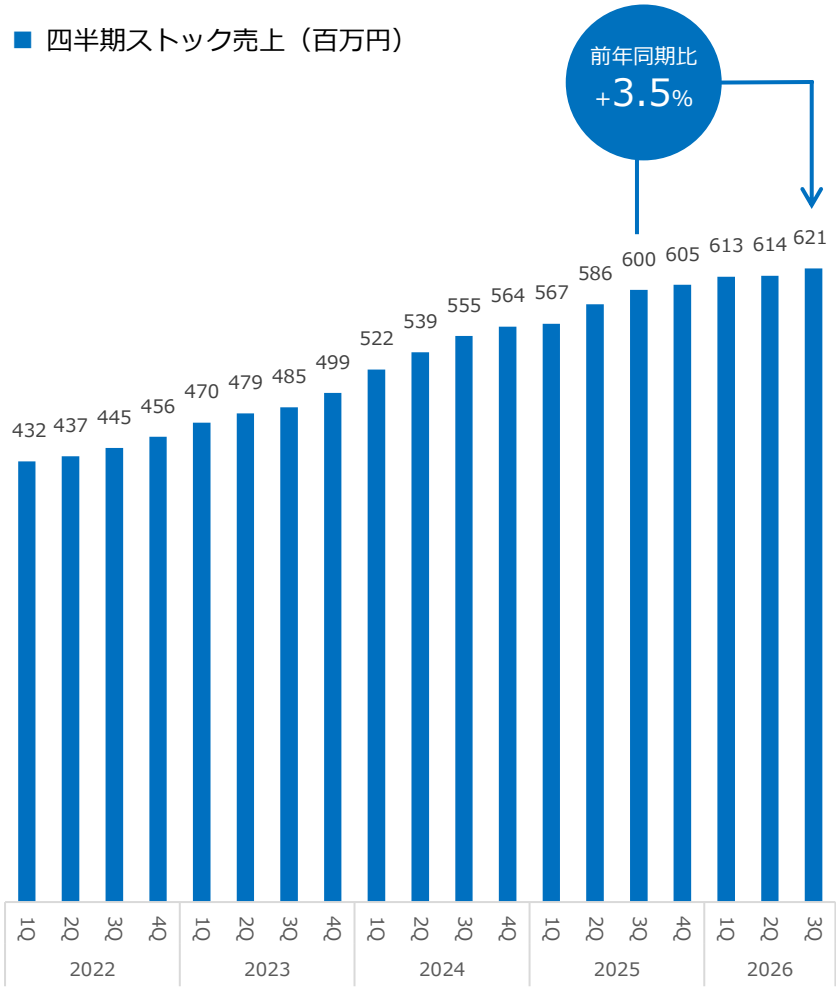
Mail　四半期末MRR (*1)　/　四半期ストック売上

期末MRRは前年同月より3.3%増の207百万円、3Qのストック売上は前年同期比3.5%増の621百万円を計上

■ 四半期末MRR（百万円）



■ 四半期ストック売上（百万円）

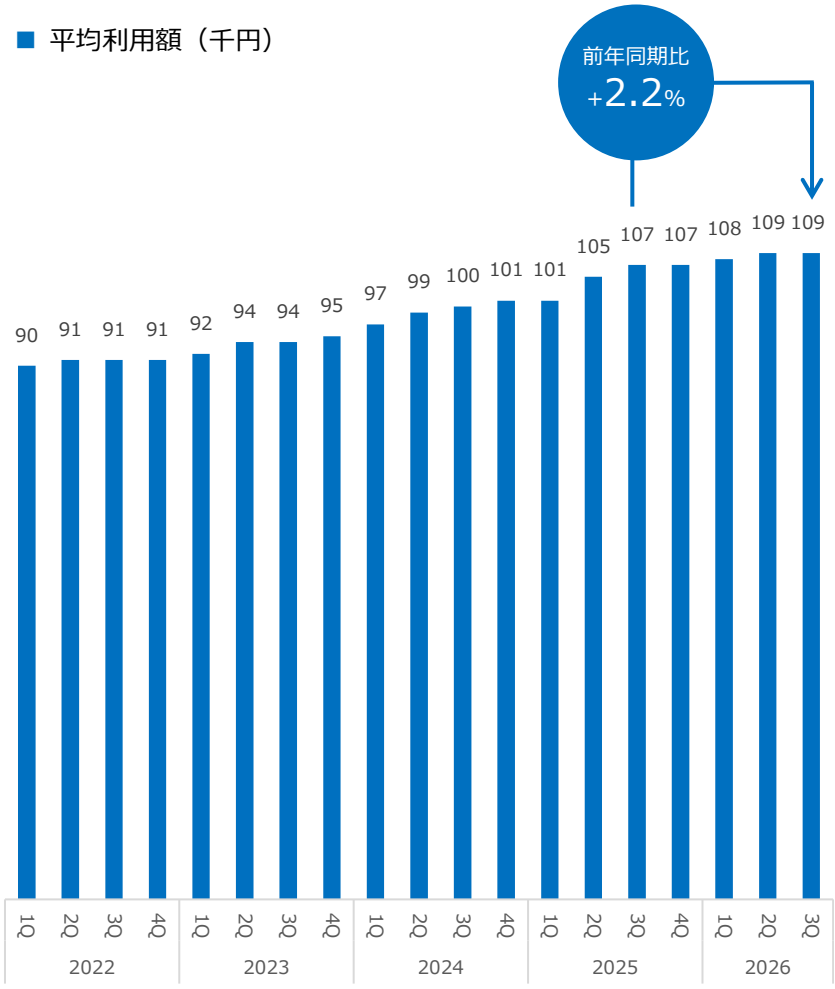


(*1) MRR(Monthly Recurring Revenue)：月次経常収益
SaaSのサービス利用売上や買取型ソフトウエアの保守売上など、一定期間の役務や利用を定めた契約に基づく収益です

Mail　平均利用額　/　月次解約率

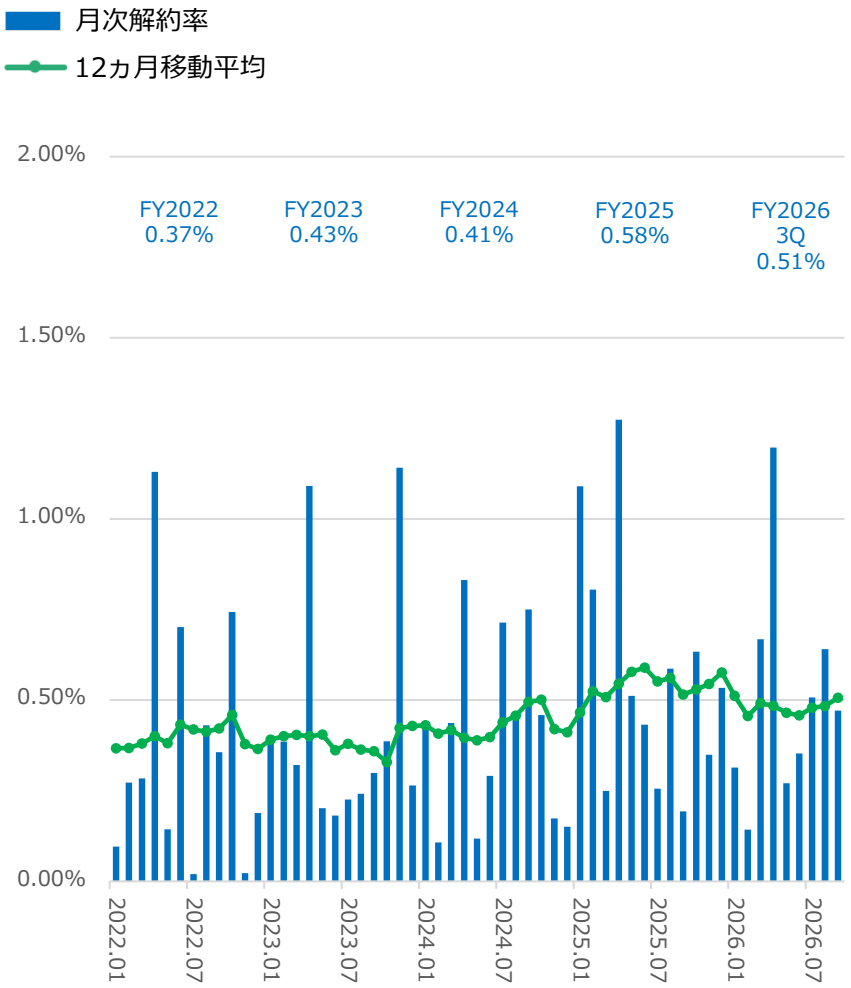
平均利用額(*1)

前期実施の価格改定により平均利用額は2.2%伸長



解約率(*2)

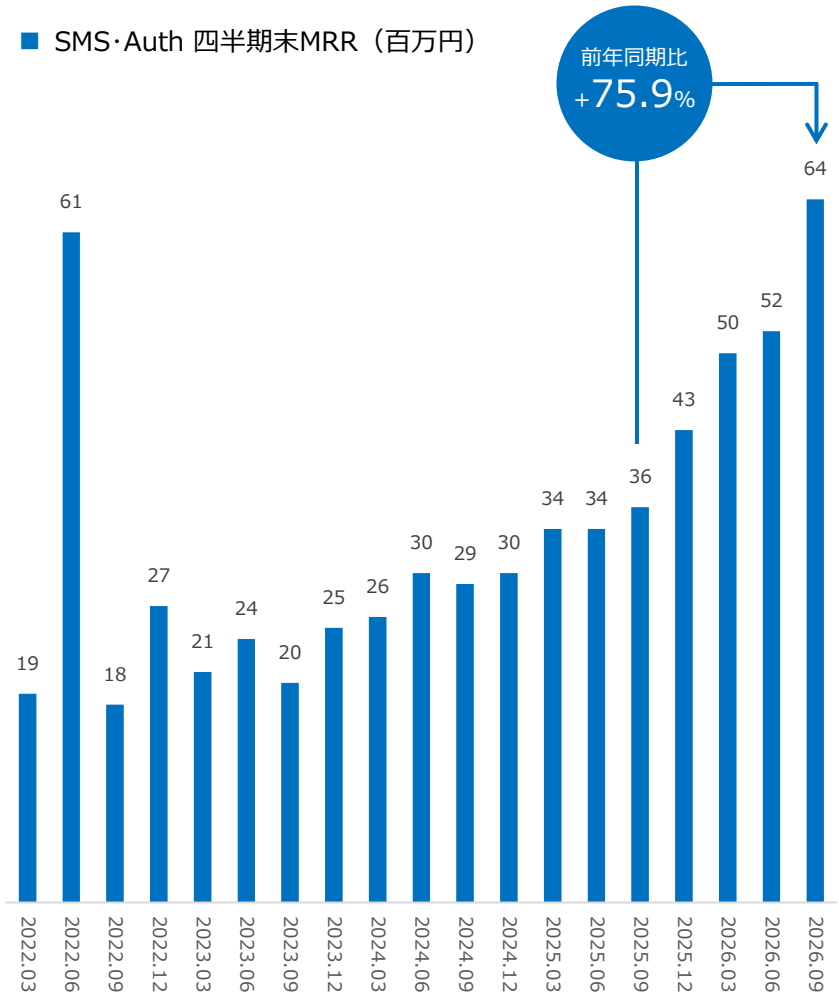
2026年1月-9月の解約率は月平均0.51%と低水準

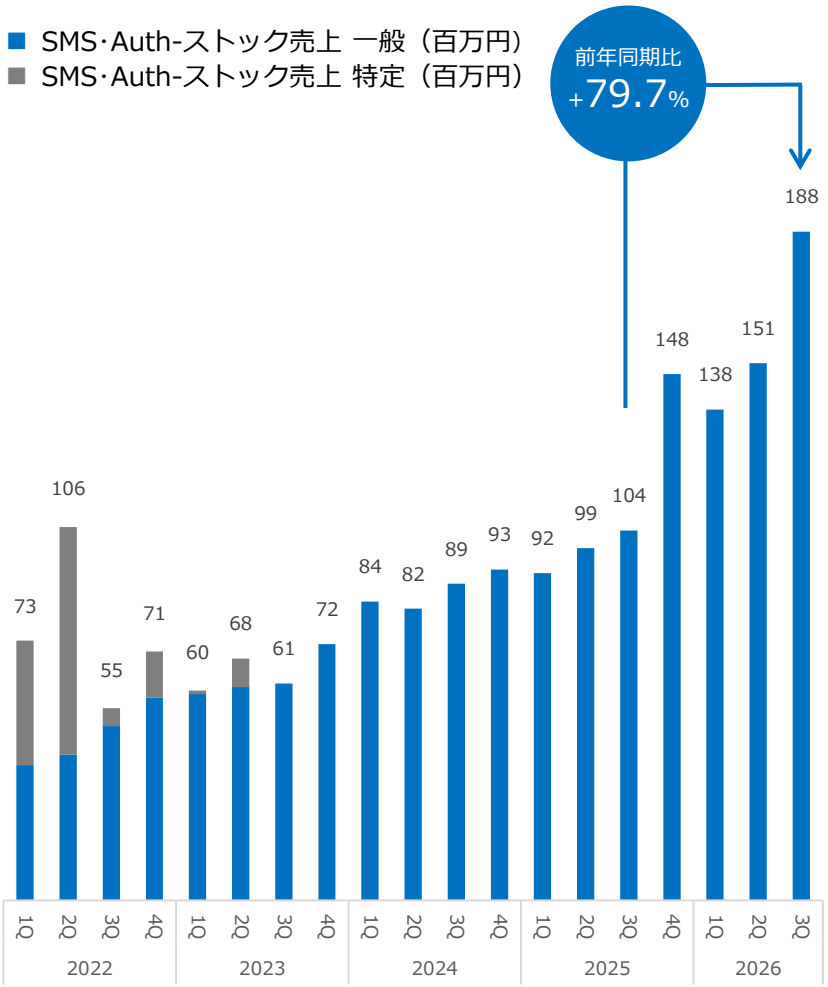


(*1) 契約あたりの平均利用額には、初期設定やカスタマイズなどの一時的な売上(スポット売上)は含んでおりません
[期間中の総ストック売上 ÷ 期間中の延べ契約数]の算式により求めています
(*2) 解約率はレベニューチャーン(金額基準)を用いており、当月に発生した解約額÷月初契約額×100の算式により算出しております

SMS･Auth　四半期末MRR　/　四半期ストック売上

契約数と既存顧客の配信数増加によりMRR、ストック売上ともに前期比70%強の成長

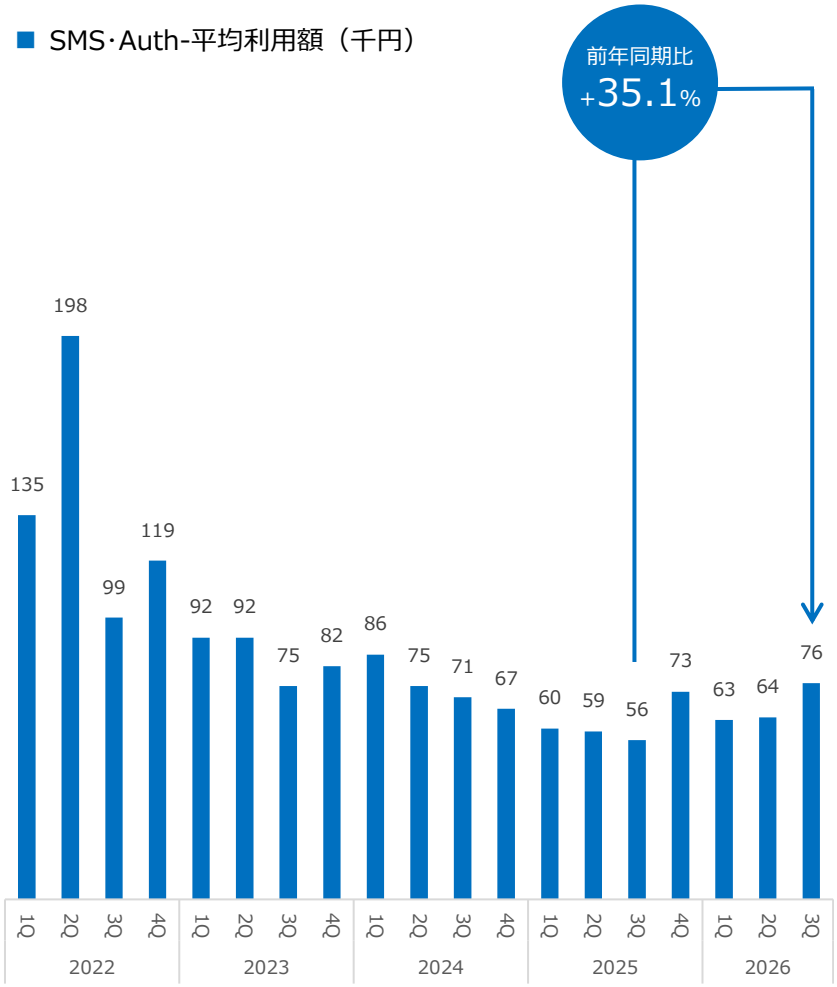




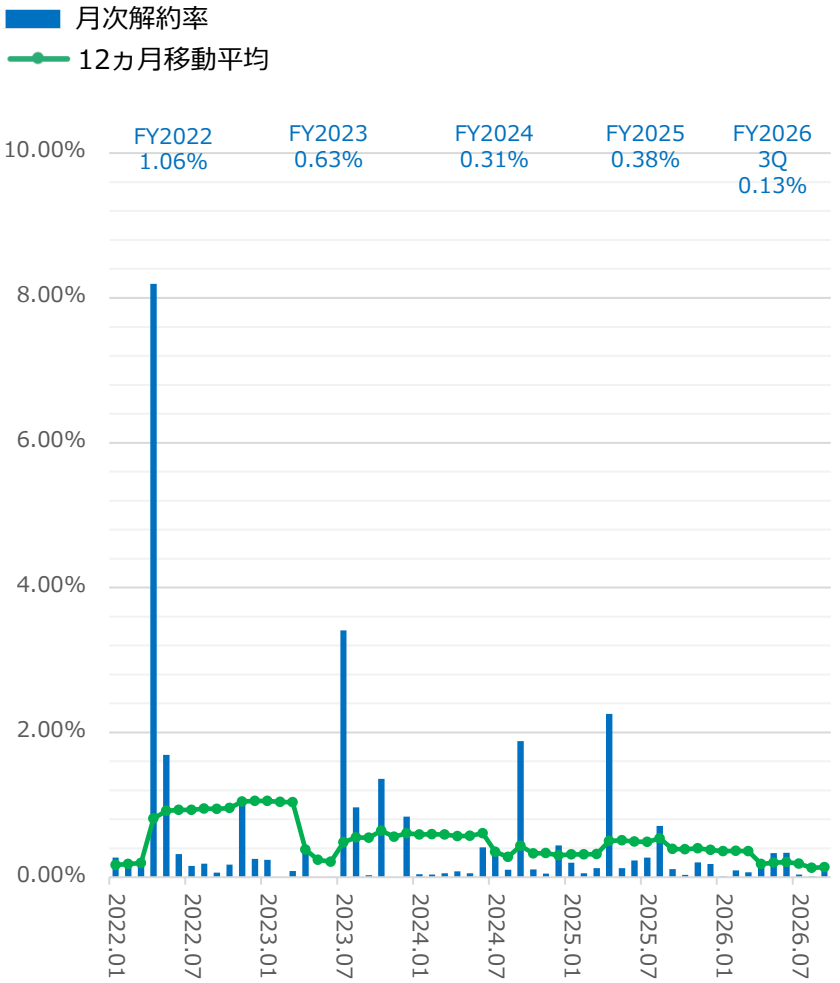
YMIRLINK

SMS･Auth　平均利用額　/　月次解約率

SMS･Auth 平均利用額(*1)
既存顧客の配信数増加により、前期比35.1%増



SMS･Auth 解約率 (*2)(*3)
月次解約率は平均0.13%と低水準を維持



(*1) 契約あたりの平均利用額には、初期設定やカスタマイズなどの一時的な売上(スポット売上)は含んでおりません
[期間中の総ストック売上 ÷ 期間中の延べ契約数]の算式により求めています
(*2) 解約率はレベニューチャーン(金額基準)を用いており、当月に発生した解約額÷月初契約額×100の算式により算出しております
(*3) SMSは配信数による従量課金が大半であり月単位での利用額に変動があるため、解約率算出にあたっては、解約顧客の利用期間中の平均利用額を求めた上で解約率を算出しております

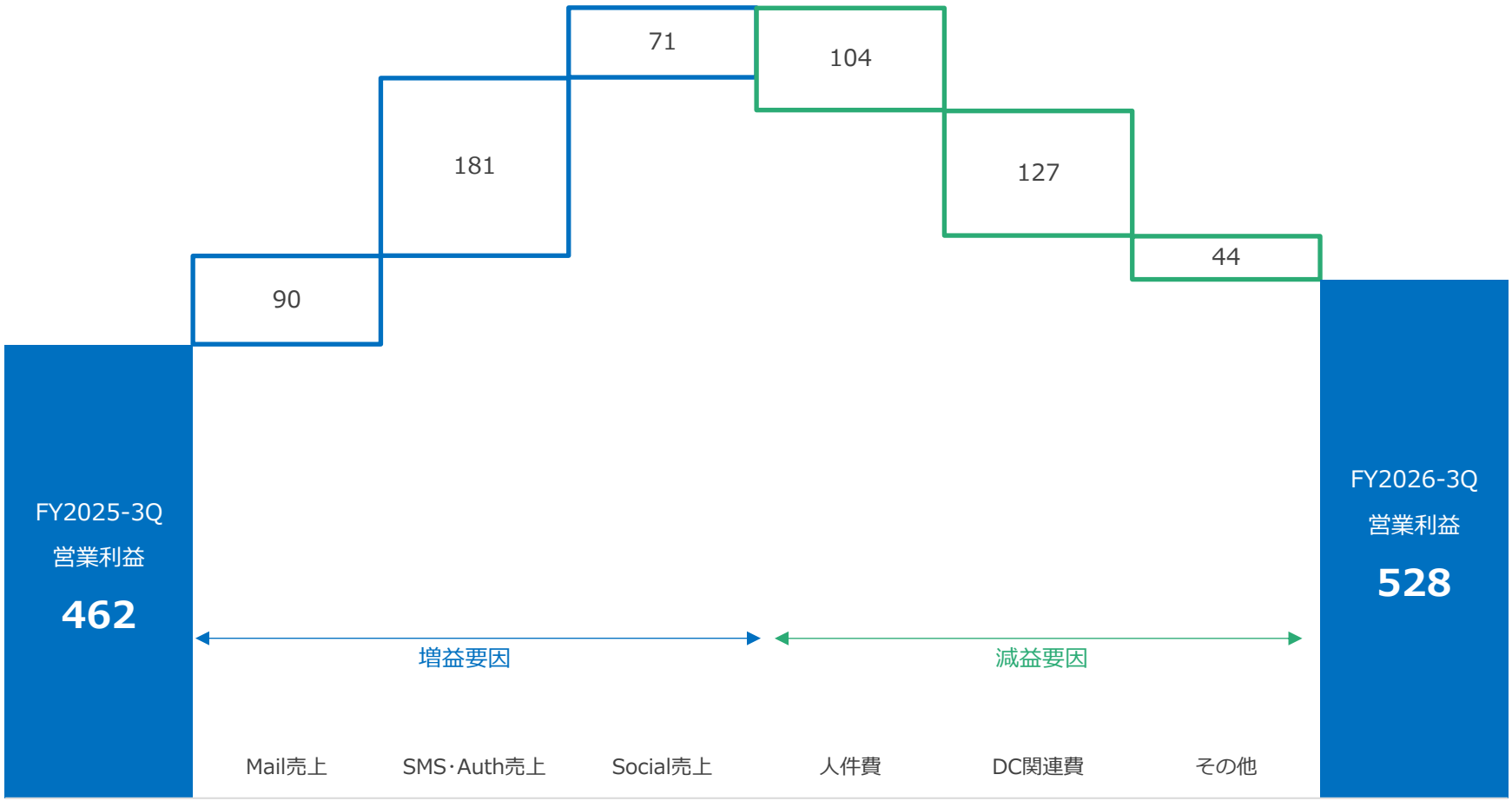
損益計算書

	2025年-3Q	2026年-3Q	増減率	増減額
売上高	2,236 百万円	2,580 百万円	15.4 %	343 百万円
売上原価	780 百万円	941 百万円	20.7 %	161 百万円
売上総利益	1,455 百万円	1,638 百万円	12.5 %	182 百万円
売上総利益率	65.1 %	63.5 %	△ 1.6 pts.	—
販管費	992 百万円	1,109 百万円	11.7 %	116 百万円
営業利益	462 百万円	528 百万円	14.3 %	65 百万円
営業利益率	20.7 %	20.5 %	△ 0.2 pts.	—
経常利益	464 百万円	536 百万円	15.4 %	71 百万円
当期純利益	306 百万円	373 百万円	21.8 %	67 百万円
当期純利益率	13.7 %	14.5 %	0.8 pts.	—

営業利益増減要因

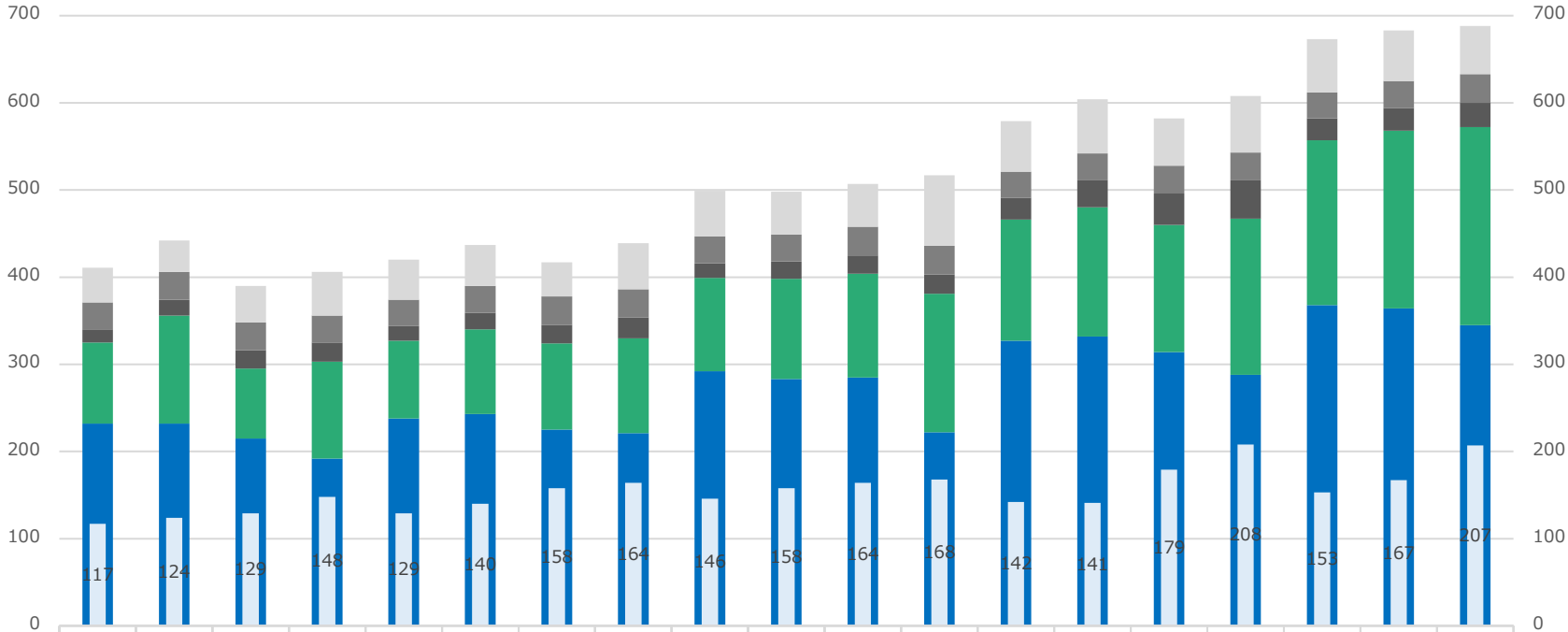
営業利益増減要因

(単位：百万円)



四半期営業費用・営業利益推移

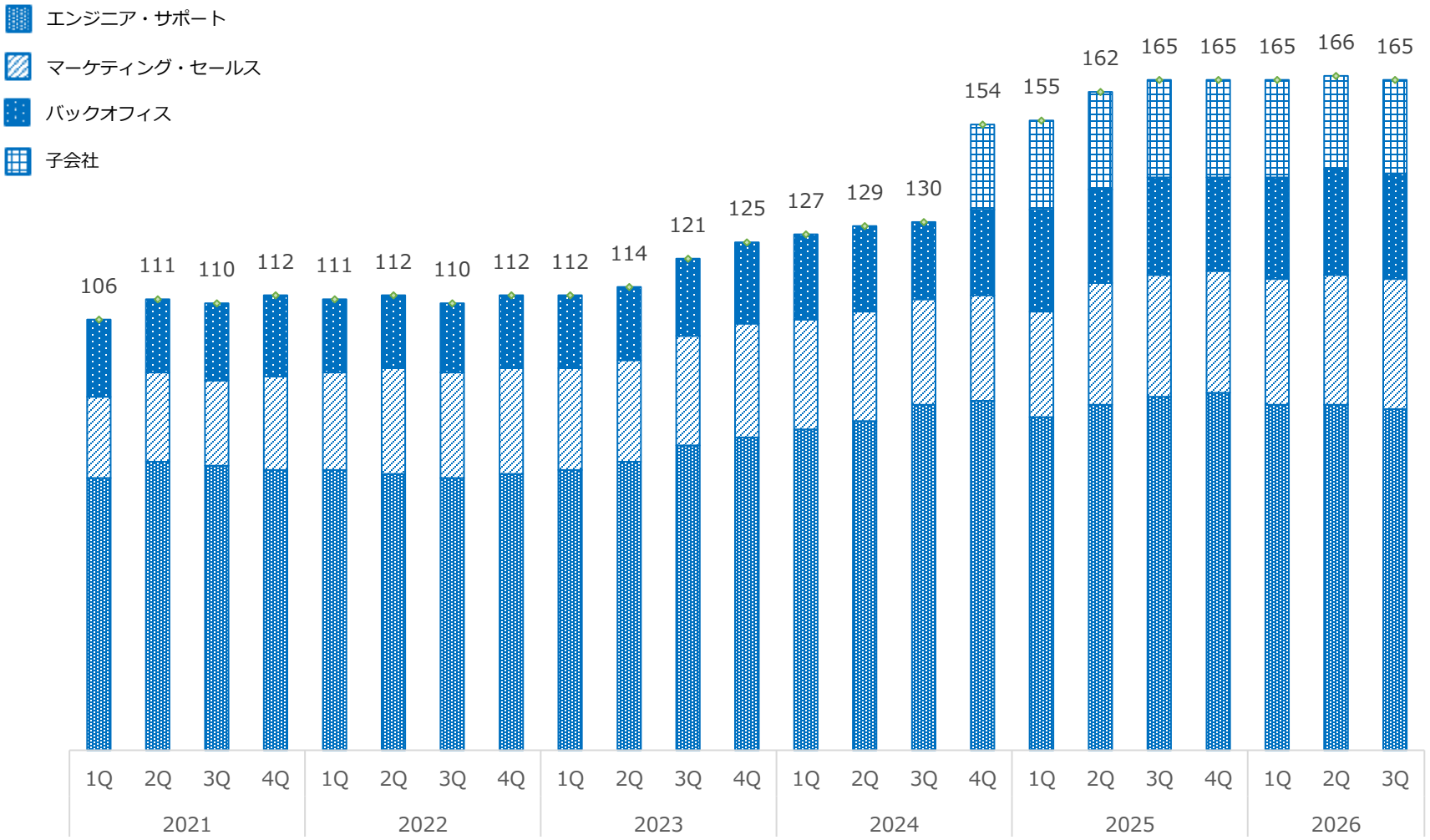
AI活用による業務効率化を推進



	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
	FY2022				FY2023				FY2024				FY2025				FY2026		
その他	40	36	42	50	46	47	39	53	52	49	49	81	58	62	54	65	61	58	55
家賃光熱費	31	32	32	31	30	31	33	32	31	31	33	33	30	31	32	32	30	31	33
減価償却費	15	18	21	22	17	19	21	24	17	20	21	22	25	31	36	44	25	26	28
サーバ・DC,仕入れ等	93	124	80	111	89	97	99	109	107	115	119	159	139	148	146	179	189	204	227
人件費	232	232	215	192	238	243	225	221	292	283	285	222	327	332	314	288	368	364	345
営業利益	117	124	129	148	129	140	158	164	146	158	164	168	142	141	179	208	153	167	207
営業利益率	22.2%	21.8%	24.8%	26.6%	23.5%	24.2%	27.4%	27.1%	22.6%	24.0%	24.4%	24.4%	19.6%	18.9%	23.4%	25.5%	18.5%	19.7%	23.1%

従業員数(連結)

2026年7月に組織改編　SRE部門(※)新設に伴いエンジニア・サポート職を統合



(※) SRE：Site Reliability Engineeringの略称
当社ではシステム開発・運用,インフラ運用,技術サポートを担当する新部門を設立

貸借対照表

	2025年12月期	2026年9月期	増減
流動資産	3,092 百万円	3,459 百万円	367 百万円
固定資産	483 百万円	476 百万円	△ 7 百万円
資産合計	3,576 百万円	3,936 百万円	360 百万円
流動負債	575 百万円	634 百万円	59 百万円
固定負債	― 百万円	― 百万円	― 百万円
負債合計	575 百万円	634 百万円	59 百万円
純資産合計	3,000 百万円	3,302 百万円	301 百万円
負債純資産合計	3,576 百万円	3,936 百万円	360 百万円
自己資本比率	83.9 %	83.9 %	0.0 pts.

流動資産

- 当座資産 ＋373百万円

固定資産

- 有形固定資産 △31百万円
  - （機材取得） ＋39百万円
  - （減価償却） △71百万円
- 無形固定資産 △8百万円
- 投資その他の資産 ＋32百万円
  - （長期前払費用） △10百万円
  - （繰延税金資産） ＋43百万円

流動負債

- 買掛金,未払金,未払費 △49百万円
- 未払税等 △41百万円
- 預り金,前受金等 ＋12百万円
- 賞与引当金 ＋137百万円



2.

2026年12月期 連結業績予想

YMIRLINK

2026年12月期　連結業績予想と進捗

	2026年12月期	2026年3Q	進捗率
売上高	3,360 百万円	2,580 百万円	76.8％
ストック売上	3,101 百万円	2,378 百万円	76.7％
スポット売上、ソーシャル売上(*1)	258 百万円	201 百万円	78.2％
営業利益	530 百万円	528 百万円	99.7％
営業利益率	15.8％	20.5％	
経常利益	533 百万円	536 百万円	100.5％
当期純利益	365 百万円	373 百万円	102.2％
当期純利益率	10.9％	14.4％	

今後、連結業績予想の修正が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

YMIRLINK

2026年12月期　主要サービスの指標

	2025年12月期	2026年12月期	増減率
Mail			
通期ストック売上	2,360 百万円	2,515 百万円	6.6 %
期末MRR	203 百万円	216 百万円	6.7 %
月次解約率	0.58 %	0.43 %	-0.15 Pts.
SMS・Auth			
通期ストック売上	446 百万円	523 百万円	17.2 %
期末MRR	43 百万円	47 百万円	8.9 %
月次解約率	0.38 %	0.35 %	-0.03 Pts.



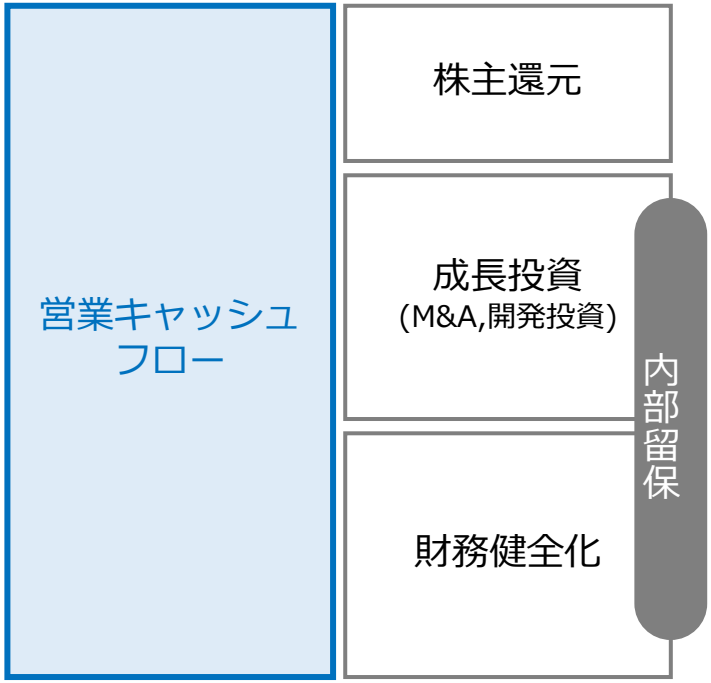
3.

株主還元方針

YMIRLINK

株主還元方針

企業価値向上のための成長投資と内部留保の確保、株主皆様への安定的、継続的な利益還元を実現してまいります。



■配当予想

	配当 2025年12月期	配当予想 2026年12月期
普通配当	19円00銭	20円00銭



4.

成長計画

メッセージングチャネルの拡充と
プラットフォーム化により持続的な成長を遂げる

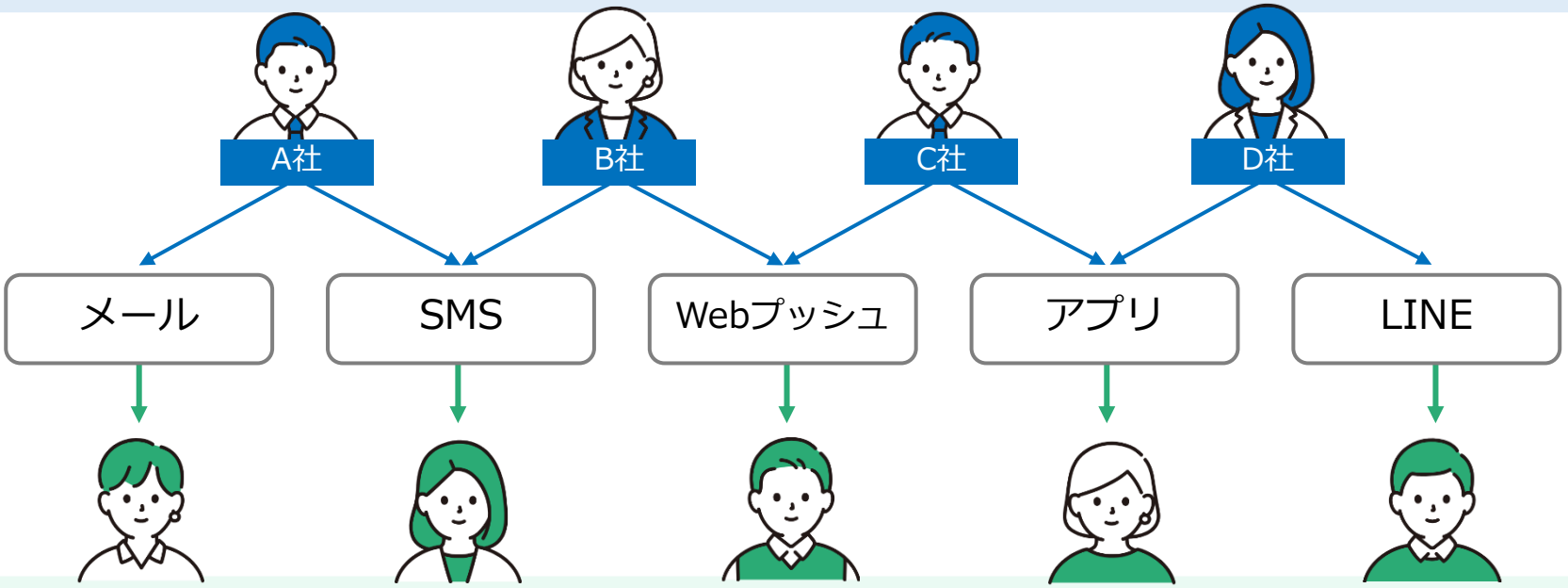


メッセージングプラットフォームの役割

課題背景 | 消費者の生活様式やITツール・テクノロジー進化によるコミュニケーション手段の多様化

企業

コミュニケーションチャネル毎のマーケティング施策
マーケティング活動の煩雑化、コストの増大



消費者

情報の受領頻度や類似性の高まり。ロイヤルティの低下、離脱

メッセージングプラットフォームの役割

企業

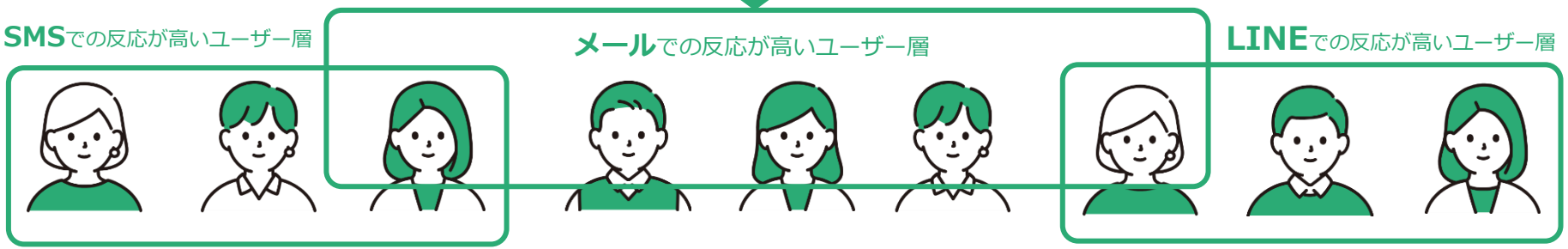
マーケティング活動の効率化・高度化

一貫性またはシームレスなコミュニケーションの実現

ユーザプロファイル、行動分析による効果の向上

メール　SMS　Webプッシュ　アプリ　LINE

広告　Web接客　SNS



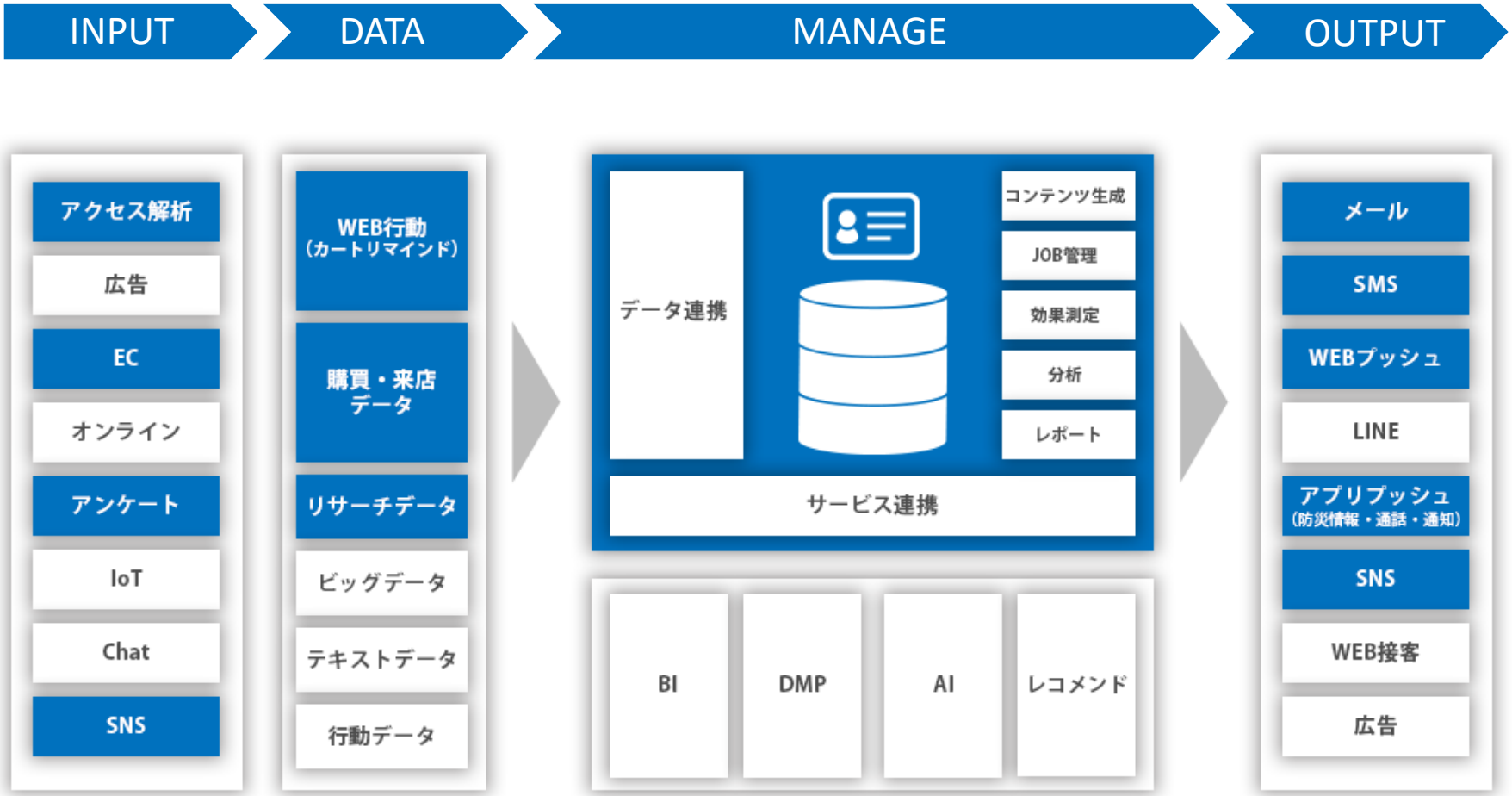
消費者

最適化された頻度、情報量、タイミングでの情報受領

YMIRLINK

メッセージングプラットフォーム概念図

選択と集中を図りながら、カバーするエリアを増やしていく



YMIRLINK

成長イメージ

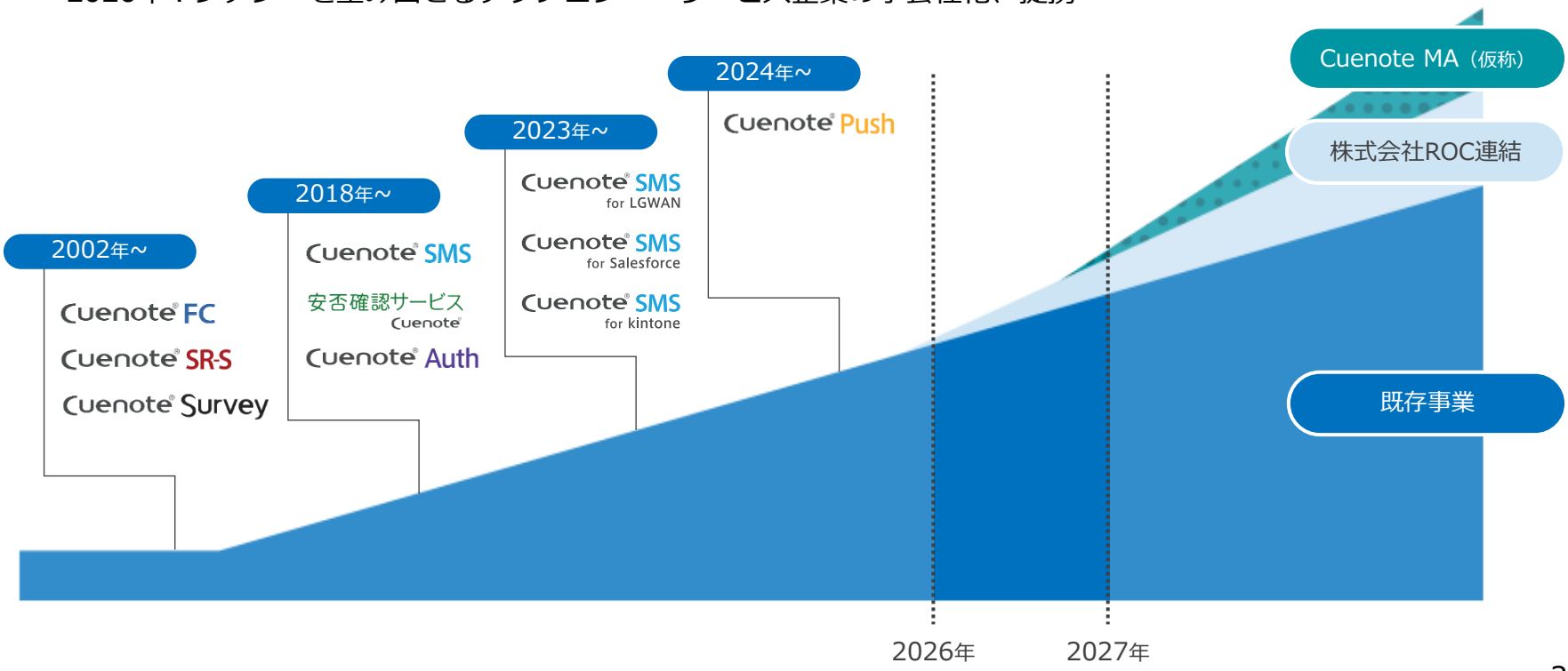
Mail・SMS市場のシェア拡大と共にメッセージングチャネル拡充により高い成長を遂げる

▶ **人的資本拡充（技術を中心とした増員、人材育成）**
2026年度：ハイクラス人材はじめ連結18名増員計画、AIツール活用

▶ **顧客価値向上に向けたサービス・基盤開発**
2026年度：Cuenote FC メジャーバージョンアップ、基盤設備への新技術適用、Cuenote MAリリース

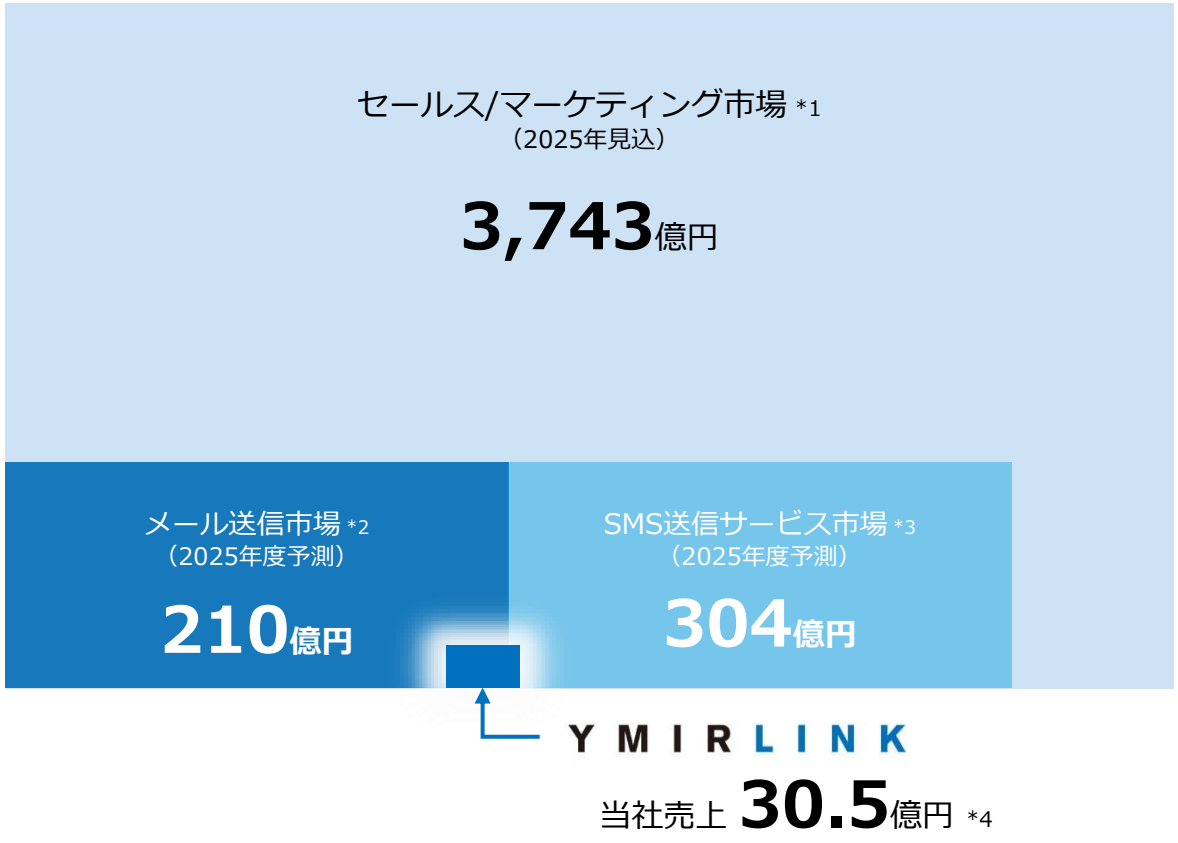
▶ **マーケティング強化**
2026年：リード獲得数増加に向けたオンラインマーケティング強化

▶ **業務資本提携**
2026年：シナジーを生み出せるテクノロジー・サービス企業の子会社化、提携



当社が属する市場と関連市場

当社では、消費者との接点がリアルからデジタルへのシフトがさらに進展し、
当社が属する市場の成長余地も大きいと考える



*1 出典：株式会社富士キメラ総研「ソフトウェアビジネス新市場2025年版」セールス/マーケティング市場（2025年見込み）
*2 出典：株式会社アイ・ティ・アール「ITR Market View：メール/Webマーケティング市場2026」メール送信市場（2025年度予測）
*3 出典：株式会社アイ・ティ・アール「ITR Market View：ECサイト構築／CMS／SMS送信 サービス／電子請求書サービス／ 電子契約サービス市場2025」
SMS送信サービス市場(2025年度予測)
*4 2025年12月期 売上高（連結）



5.

appendix

ユミルリンクの由来

The origin of our name

北欧神話に登場する最初の巨人で天地創造のシンボルとされる「ユミル」
そして、つながりを表す「リンク」
社名の由来からも想像できるように、
ユミルリンクは**「つながりを創る」**企業です。



会社概要

メッセージングソリューション「Cuenote（キューノート）」を SaaS形式で提供

社名	ユミルリンク株式会社
証券コード	4372（東京証券取引所グロース）
設立	1999年7月
代表者	代表取締役社長　清水 亘
所在地	東京（本社）　東京都渋谷区代々木2-2-1　小田急サザンタワー12F 大阪（支店）　大阪府大阪市北区梅田2-6-20　パシフィックマークス西梅田7F 北海道（オフィス）　北海道札幌市中央区南五条西1-1-12　ヒカリビル 5F
資本金	273百万円
従業員数	連結165名（単体142名）＊2026年9月現在
事業内容	メッセージングソリューション事業

沿革

1999	インターネット通信で知り合った学生が企業のホームページやWebシステムの制作業務を請け負う形で有限会社として創業
2000	株式会社に改組、Webコミュニティシステム（掲示板、オンラインチャットなど）の受託開発、メール配信システムのソフトウェア開発を手掛ける
2002	サイバーエージェントが資本参加、筆頭株主に。同グループの広告管理システム、キャンペーンシステムの開発・運用に従事
2003	高速メール配信エンジンを独自開発、メール配信ASPサービス開始、徐々に取引先を拡大
2005	筆頭株主がサイボウズに システムの受託開発から、メッセージングソリューションサービスをはじめとしたサービスモデルに事業転換
2006	アイテック阪神（現アイテック阪急阪神）と業務提携
2007	経営資源集中のため一部サービスを終了
2009	製品を Cuenote® ブランドに統一
2011	アイテック阪急阪神が筆頭株主に、業務拡大のため大阪支店開設
2013	SaaS型アンケートサービス Cuenote Surveyをリリース
2016	開発拠点として沖縄オフィス開設（2024年閉鎖）
2018	開発拠点として福岡（2024年閉鎖）、札幌にオフィス開設 Cuenote SMS をリリース
2019	Cuenote 安否確認サービスをリリース
2020	業務拡大のため、大阪支店を移転
2021	東京証券取引所マザーズ市場(現グロース市場)に上場
2022	認証サービス Cuenote Auth をリリース
2023	総合行政ネットワークと接続する Cuenote SMS for LGWAN をリリース
2024	アライアンス推進を目的に事業推進本部を設立 SNSソリューションを提供する株式会社ROCの株式取得(子会社化) WebPushサービス Cuenote Pushをリリース
2025	メールリレーサービス Cuenote SR-S エントリープランをリリース kintoneからメール送信ができる Cuenote Mail for kintone をリリース、サイボウズの「オフィシャルパートナー」に認定

製品紹介

メール配信システム

Cuenote® FC



SaaS　ソフトウェア

独自開発した配信エンジン（MTA）による大規模・高速配信性能と豊富なマーケティング機能を搭載したメール配信システムです。
月間89億通を上回る通信記録を分析し、到達率の向上を図っているため、会員数が数百、数千万件規模の大規模なメール配信においても、高速・確実に届けます。

メールリレーサーバー

Cuenote® SR-S



SaaS　ソフトウェア

メールの遅延や不達を解消するエンジニア向けのメール送信API・リレーサーバーです。
APIやSMTPリレーでメールを高速かつ確実に配信することに加え、配信エラーの理由を解析する機能も有するエンジニア向けのサービスです。

製品紹介

SMS配信サービス

Cuenote® SMS

Cuenote® SMS for LGWAN

Cuenote® SMS for Salesforce

Cuenote® SMS for kintone



SaaS

国内キャリア直収型のSMS配信サービスです。
APIや画面からの送信にあわせ、IVRや双方向通信にも対応しています。
本人認証、重要な通知・案内、督促、プロモーション、架電業務の効率化などの用途に活用いただけます。
行政・自治体向けには、総合行政ネットワーク（LGWAN）と接続する「Cuenote SMS for LGWAN」を提供。

認証サービス

Cuenote® Auth



SaaS

SMSやIVRを利用し、電話番号による認証を行えるセキュアな認証サービスです。
APIにリクエストするだけで、確認コードの生成、通知、認証の処理を簡単に実装できます。
本人認証、ECサイトの転売対策、不正アクセス対策などの用途に活用いただけます。

製品紹介

Webプッシュ通知

Cuenote® Push



SaaS

Webプッシュ通知とは、Webブラウザ経由でPCやスマートフォンなどのデバイスにプッシュ通知を送信する機能です。メルマガやLINEなどと違い、専用アプリを開くことなくユーザーに通知が届くため気付かれやすいのがメリットです。

kintone メール配信

Cuenote® Mail for kintone



SaaS

「kintone」と連携し、効率的なメール配信を行うためのサービスです。
メールの配信設定や配信結果の確認が「kintone」のアプリ上で可能となり、メール配信業務の管理負担を軽減できます。

製品紹介

Webアンケート・フォームシステム

Cuenote® Survey

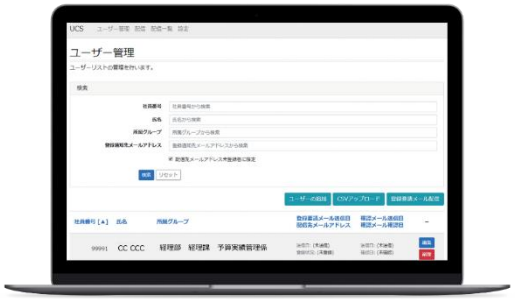


SaaS

ノーコード（ブラウザ操作）で高度なアンケートや
セキュアなフォームを作成できるWebアンケート・
フォームシステムで、SaaS形式で提供しています。
レスポンシブデザイン、多言語、ランディングページ
一体型フォームにも対応し、さまざまなシーンで活用
いただけます。

安否確認サービス

安否確認サービス Cuenote®



SaaS

気象情報と連動し、災害発生時に対象地域従業員の安否
状況を自動で確認できる安否確認サービスです。
Cuenote 安否確認サービスは、緊急時でも素早く通知
作成が出来る高い操作性と高速、確実な配信性能で、
いち早く所属員の安否確認・緊急参集が行え、
災害・緊急時対応をサポートします。

免責事項

本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの将来の見通しに関する記述は、本資料の日付時点の情報に基づいて作成されています。これらの記述は、将来の結果や業績を保証するものではありません。このような将来予想に関する記述には、必ずしも既知および未知のリスクや不確実性が含まれており、その結果、将来の実際の業績や財務状況は、将来予想に関する記述によって明示的または黙示的に示された将来の業績や結果の予測とは大きく異なる可能性があります。

これらの記述に記載された結果と大きく異なる可能性のある要因には、国内および国際的な経済状況の変化や、当社が事業を展開する業界の動向などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。

また、当社以外の事項・組織に関する情報は、一般に公開されている情報に基づいており、当社はそのような一般に公開されている情報の正確性や適切性を検証しておらず、保証しておりません。

本資料は、情報提供のみを目的として作成しています。本資料は、日本、米国、その他の地域における有価証券の販売の勧誘や購入の勧誘を目的としたものではありません。

YMIRLINK